

平成27年8月5日

香川県知事 浜田 恵造 殿

香川県ダム検証に係る検討委員会  
委員長 白木 渡



香川県ダム検証に係る検討に関する審議結果  
(綾川ダム群連携)

本日、第11回香川県ダム検証に係る検討委員会において審議したところ、当委員会は「綾川ダム群連携 ダム検証に係る検討」に関して、別紙のとおり意見を付して審議結果をとりまとめた。

貴職におかれては、今後、当委員会の意見及び審議結果を十分に踏まえ、県の対応方針を決定されたい。

## 「綾川ダム群連携 ダム検証に係る検討」に関する意見及び審議結果

## 香川県ダム検証に係る検討委員会

## 1. 香川県ダム検証に係る検討委員会の開催経緯

この委員会において、綾川ダム群連携について審議等を実施した経緯は、以下のとおりである。

| 実施日                     | 実施項目    | 審議内容等  |
|-------------------------|---------|--|
| 平成22年12月13日             | 第1回委員会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ダム検証に係る検討の経緯について</li> <li>ダム検証に係る検討の進め方について</li> <li>検証対象ダムの概要について</li> </ul>   |
| 平成26年11月10日             | 第5回委員会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ダム検証に係る検討の経緯について</li> <li>ダム検証に係る検討の進め方について</li> <li>検証対象ダムの概要について</li> </ul>   |
| 平成26年12月15日             | 第6回委員会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ダム検証と河川整備計画変更手続きについて</li> <li>綾川ダム群の検証に係る検討について               <ul style="list-style-type: none"> <li>事業の点検</li> <li>目的別検討（治水対策案、利水対策案）</li> <li>総合的な評価（素案）</li> </ul> </li> <li>第5回委員会における質疑に対する回答について</li> </ul> |
| 平成27年1月26日<br>平成27年2月2日 | 第8回委員会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>綾川ダム群 現地視察</li> <li>綾川流域、既設長柄ダム</li> </ul>  |
| 平成27年3月23日              | 第9回委員会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>綾川ダム群の検証に係る検討について</li> <li>第6回委員会における質疑に対する回答について</li> </ul>  |
| 平成27年8月5日               | 第11回委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>パブリック・コメント及び地元説明会における主な意見に対する県の考え方</li> <li>総合的な評価</li> </ul>   |

以下、県が行った「ダム検証に係る検討」を本検討といい、「香川県ダム検証に係る検討委員会」を検討委員会という。

## 2. 検討委員会の審議経過

本検討に関して検討委員会が審議等を行った項目は以下のとおりである。

### 1) ダム検証に係る検討の経緯について

- ・ 国におけるダム検証の経緯

### 2) ダム検証に係る検討の進め方について

- ・ 「ダム検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」(国土交通省)の考え方
- ・ 香川県のダム検証に係る検討の進め方と検討委員会での対応

### 3) 検証対象ダムの概要について

- ・ 綾川流域の概要【水系の概要・水利用の現況・河川特性・河川環境】
- ・ 過去の主な洪水及び濁水被害
- ・ 綾川水系河川整備計画の概要
- ・ ダム事業の計画概要と進捗状況
- ・ 綾川の河口付近から長柄ダム付近まで河道の状況とその周辺の確認【現地視察】
- ・ 既設長柄ダムの状況とその周辺の確認【現地視察】

### 4) ダム事業等の点検

- ・ 治水計画の前提となっているデータの点検
- ・ 流水の正常な機能の維持に関する計画の前提となった河川の状況の点検
- ・ 堆砂計画の妥当性の点検
- ・ ダム計画の点検
- ・ 総事業費・工期の点検

### 5) 治水(洪水調節)の観点からの目的別検討

- ・ 治水対策 26 方策の概略検討と抽出選定評価
- ・ 治水対策案の詳細検討(3案【現行計画修正案(長柄ダム再開発+既設田万ダム+河道改修)】【府中ダム再開発案(府中ダム再開発+既設田万ダム+河道改修)】【河道改修案(既設田万ダム+河道改修)】)
- ・ 治水(洪水調節)の観点からの目的別の評価(7つの評価軸)

### 6) 流水の正常な機能の維持の観点からの目的別検討

- ・ 利水対策 13 方策の概略検討と抽出選定評価
- ・ 利水対策案の詳細比較検討(3案【現行計画修正案(長柄ダム再開発)】【河道外貯留施設(貯水池)案】【ため池案】)
- ・ 利水の観点からの目的別の評価(6つの評価軸)

### 7) 検討案に係る提出意見とそれに対する県の考え方(パブリック・コメント、関係住民への説明会)

- ・ パブリック・コメントの提出意見(8人15件)に対する県の考え方
- ・ 関係住民及び関係利水者への説明会(2会場、参加総数186人)での意見に対する県の考え方

### 8) 総合的な評価

- ・ 各目的別の検討及び意見を踏まえた綾川ダム群連携の総合的な評価

### 3. 本検討に対する検討委員会の意見

検討委員会の設置の目的は、検討主体である県が、国土交通省が定める「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づく、ダム事業の検証に係る検討の実施にあたり、「関係地方公共団体」と相互の立場を理解し、検討内容の認識を深めるとともに、「学識経験を有する者」の意見を聴くことである。検討委員会の基本的な立場としては、主に「(1)治水対策案・利水代替案等目的別の検討内容」、「(2)総合的な評価」についての意見を述べることにあり、今後の行政の総合的な施策への取り組みについても提言を行ったところである。

以下、本検討に対する検討委員会の意見をまとめる。

#### [第1回検討委員会]

- ・「治水」「利水（水道用水）」だけでなく、「流水の正常な機能の維持」についても、同レベルでの検討が必要ではないか。[学識経験者]
- ・ダムができることによる、生物の多様性の変化を見る視点も必要である。[学識経験者]
- ・トップダウン的に国から検討手法が決められているが、全国共通の考え方だけでなく、地域特性を考慮し、ボトムアップ的に議論すべきではないか。[学識経験者]
- ・地域の現状を把握して、評価軸の重み付けを進めていくことが重要である。[学識経験者]
- ・地元の意見を踏まえる必要がある。[学識経験者]
- ・平成16年の浸水被害の経験からも治水対策の必要性を感じており、長柄ダムの再開発により洪水調節機能の増強をお願いしたい。上流での治水対策であるダムは必要である。

#### [坂出市]

- ・災害リスクを低減するため、ダム事業による治水対策を早急に実施していただきたい。

#### [丸亀市]

- ・現在、綾川町内には流下能力が不足する区間が多く存在しており、ダム地点で今以上の洪水調節が必要である。ダム群連携は、既存の社会資本の活用といった点で大変意義のある事業であると考えている。[綾川町]

#### [第5回検討委員会]

- ・治水安全度が流域によって異なっていることについて議論が必要。[学識経験者]
- ・希少種の存在について確認しておくこと。[学識経験者]
- ・目的、方策、目標といった言葉や様々な評価軸があり、複雑で分かりづらく、また専門用語が多用されているため、分かりやすく表現する工夫が必要。[学識経験者]
- ・平成16年の台風23号では大きな被害を受けた。河川改修と併せてダムの再開発事業もお願いしたい。[坂出市、丸亀市、綾川町]

#### [第6回検討委員会]

- ・近年の洪水実績も踏まえ当初計画のピーク流量に見直しの必要がないという点について、地域住民に理解しやすいよう丁寧に説明を行って欲しい。[学識経験者]
- ・H16年に綾川中流域で氾濫被害があったが、中流域の河道整備状況を踏まえ、今回の河川整備計画に河道整備をどのように反映していくのか整理が必要である。[学識経験者]

- ・地域住民には、専門用語を分かりやすく説明する必要がある。[学識経験者]
- ・対策案の比較にあたり、国のマニュアルによる評価軸にウエイトを考慮するなど、県独自の基本的な考えを持っておく必要があるのではないか。[学識経験者]
- ・安全に係わる情報として、分かりやすく、短時間雨量、24時間雨量等についても記述して欲しい。ダムや河川は、地域住民が集い、安全や快適を維持する大事な持ち物としてあって良かったという施設であって欲しい。[学識経験者]
- ・下流からの河道整備に対し、上流端でのダム整備は最も治水効果があると思う。地域住民にとってダムの安全性に対する関心度が高いようなので詳しく示して欲しい。  
[坂出市]
- ・ダムに対する地域住民の関心は大変高い。ダム計画については本委員会での一つの方向性が定められたと思う。[綾川町]

#### [第8回検討委員会]

- ・長柄ダム再開発の治水効果に特に期待している。[坂出市、綾川町]

#### [第9回検討委員会]

- ・土砂移動に関して、長柄ダム再開発及び田万ダムの流域が府中ダム上流の流域に占める割合を整理しているが、直接流入のない富川流域については控除して整理した方がよい。府中ダムの影響評価が難しいかもしれないが、府中ダム下流の河道についても影響を考慮しておく方がよい。[学識経験者]
- ・掘削土砂の移動先での環境影響や、掘削箇所における流量や水質の変化についても配慮していく必要がある。[学識経験者]
- ・土砂を利用する状況、その土砂が発生する状況も年々変わってきていると思われるため、土質試験等を実施し、土砂の性質を把握することでより掘削土砂の有効活用ができるのではないか。[学識経験者]
- ・掘削土砂の移動先をフォローし、有効活用を行っている実績を蓄積していくことが重要である。[学識経験者]
- ・香川県の河川は総じて伏流している河川が多く、他県の河川とは土砂移動の特性が大きく異なる。香川県特有の河道内の土砂移動特性をしっかりとおさえた上で、地域の住民に情報提供をしていくことに努めてほしい。[学識経験者]
- ・綾川の付近には学校があり、河川が子供たちの遊び場となっていることに危険を感じることもある。危険性の啓発も合わせてお願いしたい。[学識経験者]
- ・綾坂橋の架け替えにより、河川の流れがよくなった。下流にはゲートボール場ができ、住民からも喜ばれている。[坂出市]

#### [第11回検討委員会]

- ・住民意見で綾川の環境に関するコメントがあったが、環境といっても非常に幅の広いものであるので、住民の意見に耳を傾けつつ具体的対策を講じていていただきたい。  
[学識経験者]

- ・治水対策の3案の比較において現行計画修正案を有利としている点について賛成する。治水・利水の容量配分をどのようにコントロールしていくかといったダムの運用面についても検討いただきたい。[学識経験者]
- ・台風等の洪水に対してはタイムライン（防災行動計画）という考え方も有効である。ダムの運用の検討にあたっては導入も含めて検討いただきたい。[学識経験者]
- ・オールサーチャージ方式の効果や信頼性を分かりやすく説明して欲しい。  
[学識経験者]
- ・事業等の点検で得られた長柄ダム再開発案が最も有利であると考えている。一日も早く事業を進めていただきたい。[綾川町]
- ・引き続き河川改修を進めていただくとともに、長柄ダム再開発の早期着工をお願いしたい。  
[坂出市]
- ・洪水への不安を解消するためにも、事業について早急に進めるようお願いしたい。  
[丸亀市]

#### 4. 審議結果

綾川ダム群連携についての審議結果は以下のとおりである。

- 「ダム検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に沿って検討した結果、「計画を変更した長柄ダム再開発案が最も有利である。」とした県の検討結果は妥当である。
- 検討段階での意見については、今後の行政施策の実施にあたり適切に対応されたい。